



EBZ8550

目次

はじめに.....	2	メンテナンス.....	14
安全性.....	4	搬送・保管・廃棄.....	18
組立.....	9	主要諸元.....	19
操作.....	10		

はじめに

お客様へ

このたびはハスクバーナ・ゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本取扱説明書は、製品の正しい取扱方法、簡単な点検およびメンテナンスについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

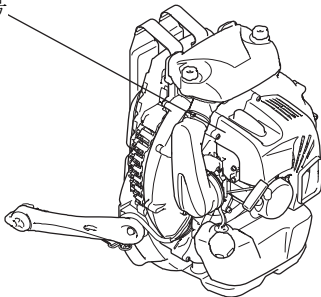
サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご利用は、お近くの販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。製品技術・その他に関してお気づきの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。

型式名
製造番号



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補給部品の供給年限は製造打切後 8 年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。補給用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要望があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



警告： 機械の改造は危険ですので、改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。

製品の説明

当社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

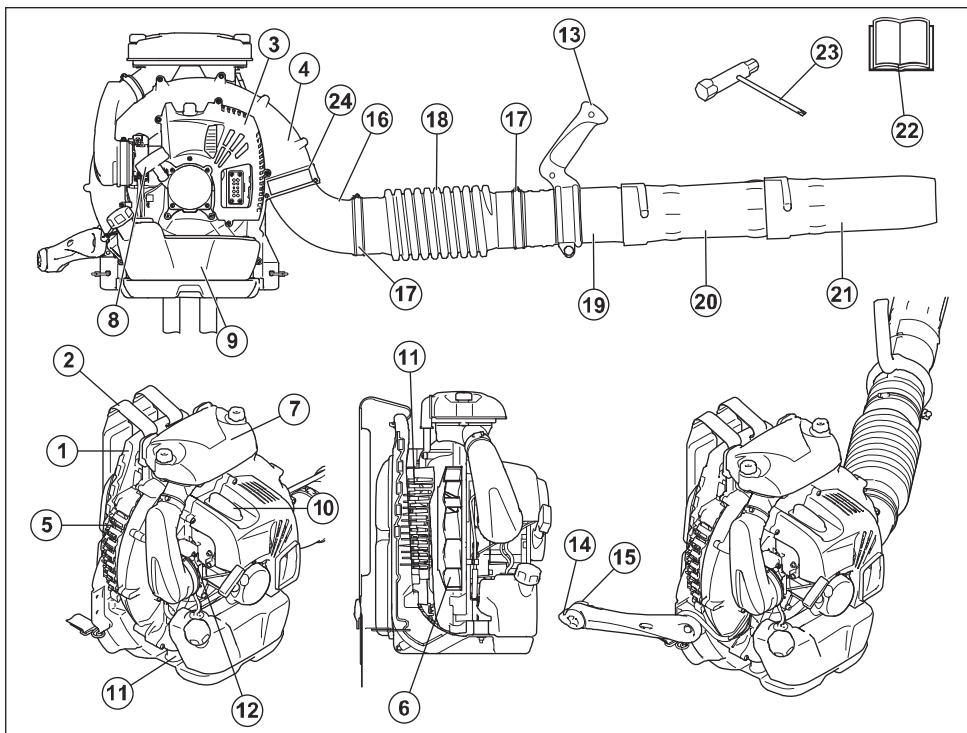
注記： 本製品は、2 サイクルエンジンを搭載したバックバックブローです。

用途

本製品を使用して、芝生、歩道、道路などから落ち葉、埃、ゴミなどを吹き飛ばすことができます。

注記： 本製品の使用においては、国内の規制が課せられる場合があります。

製品の概要



1. フレーム
2. ハーネス
3. エンジンカバー
4. ポリカーボネイトケース
5. 吸気網
6. ファン
7. エアクリーナー
8. スタートノブ (リコイルスタータ)
9. 燃料タンク
10. プラグキャップ (スパークプラグ)
11. 防振装置
12. チョークレバー
13. グリップ
14. スロットルレバー
15. エンジンスイッチ
16. エルボ
17. クランプ
18. フレキシブルホース
19. パイプ
20. ストレートパイプ
21. パイプエンド
22. 取扱説明書
23. ツール (ソケット)
24. コーシヨンラベル

製品に表記されるシンボル



警告！本製品の使用には危険が伴います。不注意な取り扱いや誤った取扱いは、作業や周囲の人などの負傷または死亡事故を引き起こすおそれがあります。作業や周囲の人の負傷を防止するため、本取扱説明書に記載されている安全注意事項をすべて読んで、従ってください。



本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、使用してください。



常に下記のものを着用してください。

- 耳栓 (イヤマフ)
- 防護メガネ (ゴーグル)
- 粉塵の恐れがある場合は防塵マスクを使用してください。



回転するファンにより指または手を切断する危険があります。



認可された保護手袋を着用してください。



燃料の給油口および使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを示します。



プライマポンプを押すとキャブレタに燃料が満たされることを示します。



体のあらゆる部分を、高温の表面から遠ざけるようにしてください。



チョークレバー：開位置



チョークレバー：閉位置



ブロウで飛ばしたものが跳ね返ってくる場合があります。そのため推奨されている防護メガネ（ゴーグル）を使用していないと、目に重傷を負うことがあります。



ブロウの作業者は、作業中に人や動物が15メートル以内に近づかないように注意する必要があります。作業場所内で複数の作業者がいる場合は、安全のために、最低15メートルの距離を取ってください。

yyyywwxxxx

製造番号は銘板に記載されています。yyyy は製造年、ww は製造された週で、xxxx はシリアル番号です。

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンタまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示すために使用されます。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品やアタッチメント、他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

一般的な安全注意事項



警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- いかなる理由であれ、製造者の認可を得ることなく本機に改造を加えないでください。常に純正の部品をお使いください。不認可の改造や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。
- 何らかの改造を受け、出荷時の仕様と異なる製品は、絶対に使用しないでください。
- 本機に欠陥がある場合は絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家で行っていただけないものもあります。手順については、「メンテナンススケジュール 14 ページ」を参照してください。
- 本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。安全装置には、特に研修が必要です。安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。本取扱説明書の点検に基づき、本機に不具合が見つかった場合は、お近くの販売店に連絡してください。本機の安全装置は、本取扱説明書の説明に従ってメンテナンスする必要があります。弊社の製品を購入されると、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。
- 周囲の人、動物および物品等を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者にあることを常に意識してください。

操作のための安全注意事項

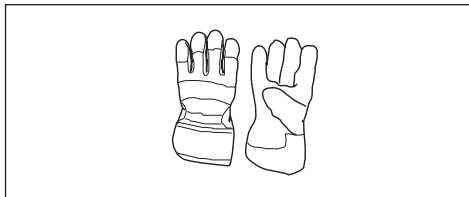


警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 不注意な取り扱いや誤った取り扱いをすると、本機は危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。
- 長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可された耳栓（イヤマフ）を必ず着用してください。
- 使用前に本機全体の点検を実施してください。点検時期については、「メンテナンススケジュール 14 ページ」を参照してください。
- 疲労時や飲酒後、視力・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1 回の連続作業時間は 30 ～ 40 分を限度とし、10 ～ 20 分の休憩を取ってください。また、1 日の作業時間は 2 時間以内としてください。
- 身体保護具を着用してください。詳細については、「使用者の身体保護具 6 ページ」を参照してください。
- 始動する前に、すべてのカバーやガードを取り付ける必要があります。感電の危険を回避するために、プラグキャップやイグニッションリードが損傷していないことを確認してください。
- ブロワの作業者は、15 m 以内に人や動物がいないことを確認してください。複数の作業者が同じ作業領域で作業する場合は、常に互いに 15 m 以上の安全な距離を取ってください。
- 子供に本機を操作させないでください。
- 本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。
- 作業開始前に必ず吸気網を遮るものがないことを確認してください。
- 吸気網は決して取り外さないでください。
- 緊急時は、ハーネス両側のバックルを同時に引き上げ、本機を後方に落下させます。
- 地域の行政機関に相談して法令への準拠を守ってください。
- 体のあらゆる部分を、高温の表面から遠ざけるようにしてください。
- 本機を屋内で始動しないでください。排出ガスを吸入すると危険です。
- 周囲を良く見回してください。人や動物が本機に接触することがないことを確認してください。作業エリアに人が近づいて来たら、その人との間に安全な距離が確保できるまでスロットルレバーをアイドリング位置にします。
- 人、動物、遊び場、窓、車などにはブロワを向けないでください。周囲 15 メートルの作業領域に、許可なく人や動物が入らないようにしてください。
- 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、首首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。白ろろ病発症のリスクを低減するために、次の注意事項を守ることを強く推奨します。
 - 厚手の防振手袋を着用すること。
 - 頻繁に暖かい場所で 5 分以上の休憩を取ること。
 - ハンドルは常にしっかりと握ること。ただし、持続的に過度の圧力をかけて握ることは避けること。
 - 指や、体の他の部分に違和感や赤み、腫れがある場合には、悪化する前に医師の診察を受けること。
- エンジンの排出ガスには、中毒を引き起こす一酸化炭素が含まれています。このため、屋内あるいは通気の悪い場所で本機を始動または運転しないでください。エンジンの排出ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となります。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください。
- 燃料を給油する場合は、エンジンが冷えるまで待ってください。
- 強力な風力で落ち葉や埃、ゴミなどを吹き飛ばすため、それらがはね返り、目に重傷を与える可能性があります。
- ブロワを人や動物に向けないでください。
- 猛暑、濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、足元が滑りやすくなるなど危険です。
- 埃っぽいエリアでの作業は、事前に周囲を軽く湿らせると埃の舞い上がりを抑制することができ、作業が効率的になります。
- 身体の動きが自由に取れ、足場が良いことを確認してください。とっさに身をかかわさなければならない場合に邪魔になる物（木の根、岩、枝、溝など）が周囲にあるかどうか確認してください。斜面での作業は特に注意してください。
- エンジンをかけたまま本機を地面に置く場合は、決して目を離さないでください。
- はしごや高所（屋根など）で本機を操作しないでください。高所での使用は禁止されており、重傷を負うおそれがあります。

- 事故のときに助けを求めることができない状況で、本機を使用しないでください。
- 作業中は、飛散物に気をつけてください。常に防護メガネ（ゴーグル）を着用してください。石やゴミなどが目に入って、失明や重傷となる可能性があります。
- エンジンカバーの排出ガス出口が壁やその他の障害物で塞がれている場合は、本機を操作しないでください。製品が損傷する可能性があります。操作中は、障害物からの距離が **50 cm** 以上あることを確認してください。
- 清掃する前は、必ずエンジンを停止してください。
- 本機を始動する際は、必ず給油場所から移動し、平らな場所で始動してください。
- 本機は正常に組み立てられた状態でのみ、始動することができます。すべてのガードを装着せずに本機を始動した場合、人身事故につながる恐れがあります。
- 本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によっては能動あるいは受動的な医療用器具に影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用器具を使用している人が本機を操作する前に、主治医および医療用器具の製造元に相談することをお奨めします。

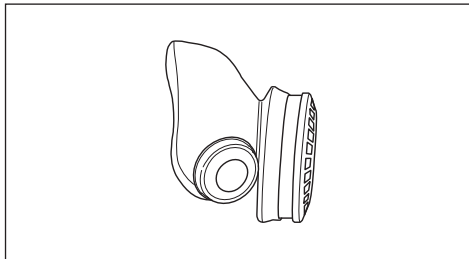
- 本機の点検や清掃を行うときは、必要に応じて保護手袋を着用してください。



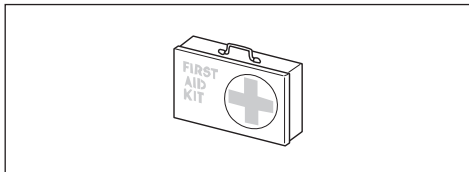
- 丈夫で滑りにくいブーツを着用してください。



- 厚手の長ズボン、ブーツ、手袋、および長袖シャツを常に着用してください。回転部品に物が巻き込まれることによる負傷の危険性を低減するために、ゆったりした衣服、スカーフ、宝飾品などは身に着けないでください。髪の毛は肩より上になるように留めてください。
- 粉塵の恐れがある場合は防塵マスクを使用してください。



- 常に救急箱を身近に備えてください。

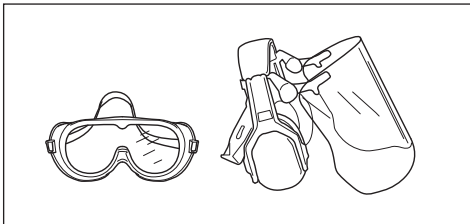


使用者の身体保護具



警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本機を使用するときは、常に、認可された身体保護具を着用してください。身体保護具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。適切な保護具の選択については、販売店にご相談ください。
- 騒音を十分に軽減する、認可された耳栓（イヤマフ）を必ず着用してください。長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。
- 認可された防護メガネ（ゴーグル）を着用してください。吹き飛ばされた枝等が飛び散り、目に損傷を与えるおそれがあります。



本機の安全装置



警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

この項では、本機の安全機能とその目的、本機の正しい動作を確保するための点検とメンテナンスの方法について説明します。本機の部品の位置については、「製品の概要 3 ページ」を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、専門技術者が整備・修理を行わなかったりすると、本機の寿命が短くなり、事故発生のおそれが増します。詳しくは、お近くの販売店にお問い合わせください。



警告： 安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。本項目の記載に従って、本機の安全装置の点検、メンテナンスを行ってください。お持ちの製品がこれらの点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くの販売店に修理を依頼してください。



注意： 本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。安全装置には、特に研修が必要です。本取扱説明書の点検に基づき、本機に不具合が見つかった場合は、お近くの販売店に連絡してください。弊社の製品を購入されると、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。

マフラの点検方法

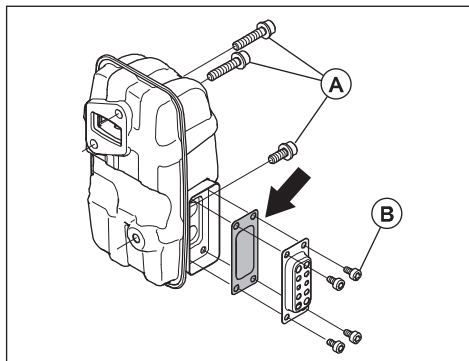


警告： マフラに不具合のある製品は使用しないでください。



警告： マフラは、作業時およびアイドリング時に非常に高温になります。火傷を防ぐために保護手袋を着用してください。

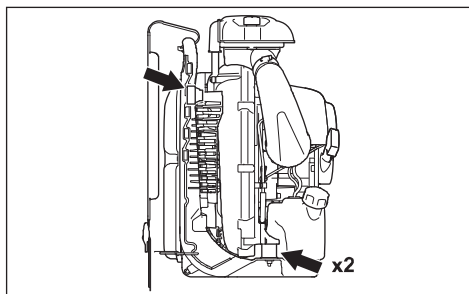
1. エンジンを止めます。
 2. 損傷や変形がないか目視点検します。
- 注記：** マフラ内部の化学物質には発ガン性のものがあります。万が一、マフラが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。
3. マフラが本機に適切に取り付けられていることを確認してください。
締付トルク：(A) $8 \sim 12 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($80 \sim 120 \text{ kg} \cdot \text{cm}$)
(B) $2 \sim 3 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($20 \sim 30 \text{ kg} \cdot \text{cm}$)



4. スパークアレスタを取り外し、目視点検します。
 - a) スパークアレスタに欠陥がある場合は交換してください。
 - b) スパークアレスタに詰まりがある場合は清掃してください。詳しくは、「マフラのメンテナンス方法 15 ページ」を参照してください。

防振装置

本機には振動を軽減し、操作を容易にする防振装置が装備されています。防振装置を点検し、損傷していないことを確認してください。また、防振装置が正しく取り付けられていることを確認してください。

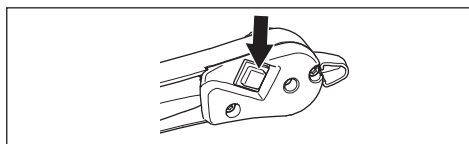


エアフィルタ

エアフィルタを取り付けていない場合、またはエアフィルタが損傷や変形している場合は、本機を使用しないでください。

エンジンスイッチ

エンジンスイッチはエンジンを停止するときに使用します。スイッチを押すと、エンジンが完全に停止することを確認してください。



ハーネスの安全性

本機を操作するときは、必ずハーネスを使用して背負ってください。背負っていないと本機を安全に操作することができず、自分や他の人が負傷するおそれがあります。ハーネスのストラップが取り付けられ、正しく調整されていることを確認してください。緩んだストラップが製品のパネルに巻き込まれるおそれがあります。

燃料の安全について



警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 燃料を屋内や熱源の近くで混合しないでください。
- 本機に燃料やエンジンオイルが付着している場合は始動しないでください。付着した燃料やオイルをふき取り、乾かしてください。
- 衣服にガソリンをこぼした場合は、すぐに着替えてください。
- 燃料が身体に付着しないようにしてください。負傷する場合があります。身体に燃料が付着した場合は、石鹸と水を使用して燃料を洗い流してください。
- 本機や身体にオイルや燃料をこぼした場合は、エンジンを始動しないでください。
- 本機から燃料が漏れている場合は、エンジンを始動しないでください。燃料の漏れがないかどうかは定期的に点検してください。
- 燃料に注意してください。気化した燃料は爆発性があるため、負傷や死亡に至ることがあります。
- 気化した燃料を吸引しないでください。負傷の原因になることがあります。十分な空気の流れを確保してください。
- 燃料やエンジンのそばで喫煙しないでください。
- 燃料やエンジンのそばに温かい物を置かないでください。
- エンジンを運転中に、燃料を給油しないでください。
- 燃料の給油は、エンジンが冷えてからにしてください。
- 燃料タンクキャップを開ける前に製品および補給用タンクを地面に置くなどして、帯電している静電気を除去してください。
- 燃料給油時に金属製の漏斗を使用しないでください。静電気が燃料に放電して火災の原因となります。
- 燃料を給油する前に、燃料タンクのキャップを開けて慎重にタンク内の圧力を解放してください。
- 屋内でエンジンに燃料を給油しないでください。十分な空気の流れがないと、窒息や一酸化炭素中毒によって負傷や死亡に至ることがあります。
- 始動する前に、燃料を入れた場所から本機を 3 m 以上移動させてください。

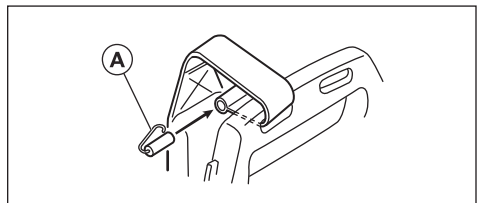
- 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。
- 本機または燃料容器を動かしたときに漏れないことを確認してください。
- 本機または燃料容器を裸火、火花、または種火がある場所に置かないでください。保管場所に裸火がないことを確認してください。
- 補給用燃料は、火気のない日陰に置いてください。
- 燃料を移動するとき、または燃料を保管場所に置くときは、認可されている容器のみを使用してください。
- 長期間保管するときは、燃料タンクを空にしてください。残った燃料の廃棄は、お近くの販売店またはガソリンスタンドに相談して適切な廃棄処分を行ってください。
- 長期間保管するときは、本機を清掃してください。
- エンジンが誤って始動しないようにするために、本機を保管する前にプラグキャップを外してください。

メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 品質保証されていないアクセサリや交換部品を使用した場合、損害または製造物責任に対して保証が適用されることがあります。
- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。
- マフラ内部の化学物質には発ガン性のものがあります。万が一、マフラが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。
- ハーネスのクリップ (A) がストラップに挿入されていることを確認してください。正しく挿入されていないとハーネスが外れて、怪我をするおそれがあります。



組立

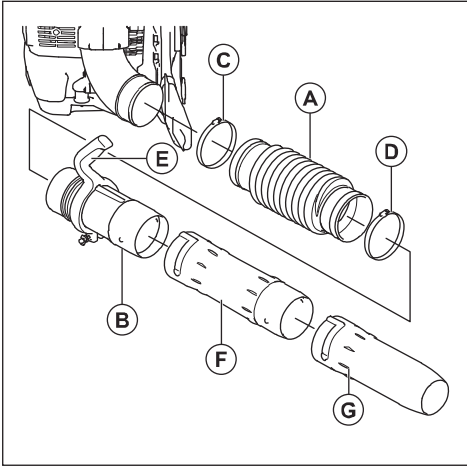
はじめに



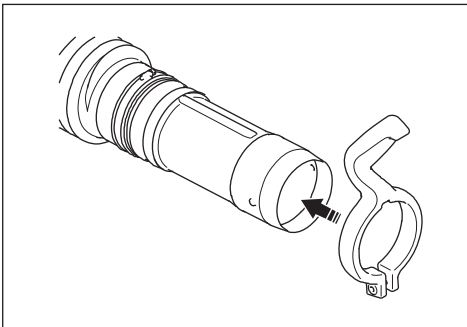
警告： 本機を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

パイプの取り付け方法

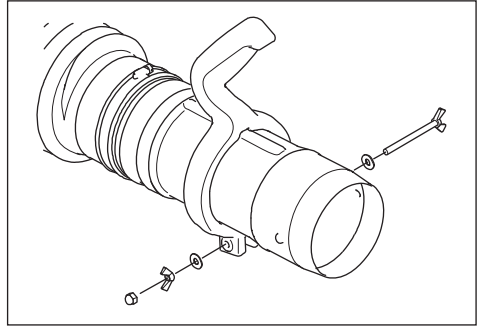
1. クランプ (C) を使用してフレキシブルホース (A) をエルボに取り付けます。



2. グリップ (E) をパイプ (B) に押し込みます。

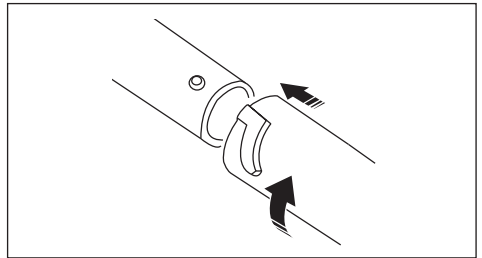


3. 図に示すように、ボルト、ワッシャ、ナットを取り付けて締め付けます。



4. クランプ (D) を使用してパイプ (B) をフレキシブルホース (A) に取り付けます。

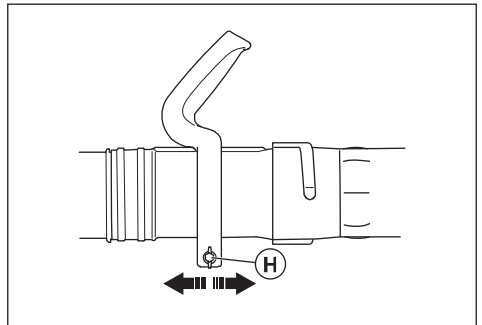
5. ストレートパイプ (F) をパイプに取り付けます。



6. パイプエンド (G) をストレートパイプに取り付けます。

注記： パイプが入りにくい場合は、接続部にグリースを薄く塗ってください。

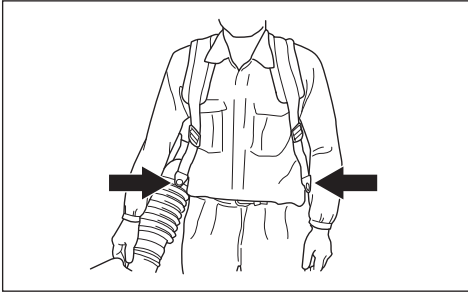
7. ノブボルト (H) を緩めて、グリップの位置を調整します。



8. 適正な位置でノブボルトを締め付けます。

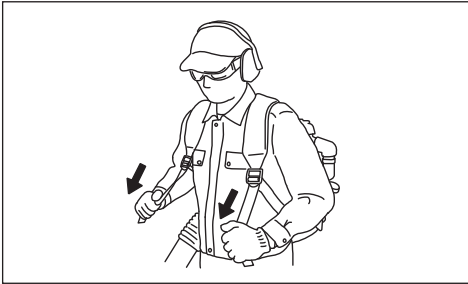
ハーネスの調節方法

ブロブ本体を背負ったときに本機が身体に密着するようにハーネスを正しく調整するとブロブの操作が容易になります。



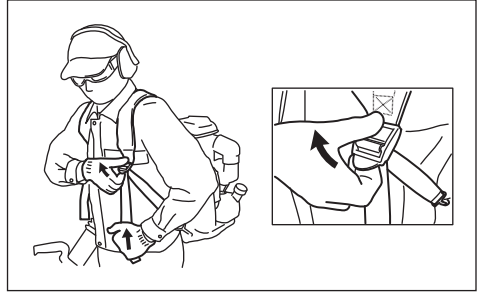
締め付け方

- サイドストラップの端を引いて締め付けてください。



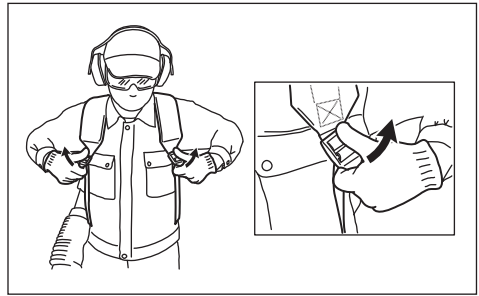
緩め方

- バックルの端を引き上げ、ストラップをスライドさせながら緩めます。



緊急離脱

- 緊急の場合は、両側のバックルの端を同時に引き上げると本機が身体から外れます。



操作

はじめに



警告： 本機を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

燃料

本機には 2 サイクルエンジンが搭載されています。



注意： 誤った種類の燃料を給油すると、エンジンが損傷する可能性があります。必ず、ガソリンと 2 サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。



警告： 燃料を取り扱う際は、常に十分な換気を行ってください。

燃料の混合方法

ガソリン

- 高回転での作業を連続する場合は、オクタン価の高いガソリンを使用することをお勧めします。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された 2 サイクルエンジン専用の混合燃料です。

- ◎ 変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
- ◎ エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
- ◎ 混合の手間不要
- ◎ 給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで、運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。詳しくはお近くの販売店にお問い合わせください。

2 サイクルエンジンオイル

- 最良の効果と性能を得るには、ゼノア純正 2 サイクルエンジンオイル (FD 級) をご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式 2 サイクルエンジン用として特別に調合されています。(混合比 50 : 1)
- ゼノア純正 2 サイクルエンジンオイルが入手できない場合は、高品質の空冷エンジン用 2 サイクルオイルを使用することができます (JASO 性能分類 FD 級のオイル、混合比 50 : 1)。オイルを選択する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。



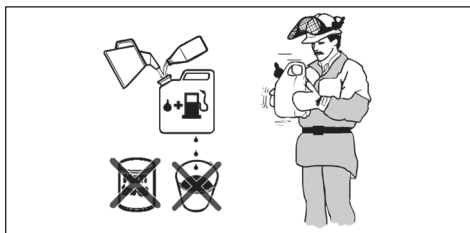
注意：アウトボードオイルとも呼ばれる水冷式船外機用の 2 サイクルエンジンオイルは絶対に使用しないでください。4 サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

ガソリンと 2 サイクルエンジンオイルの混合方法

ガソリン、 L (リットル)	2 サイクルエンジンオイル、 L (リットル)
混合比 50 : 1 (2%)	
1	0.02
5	0.10
10	0.20
15	0.30
20	0.40



注意：正しい混合比を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。



1. まず使用予定の半量のガソリンとオイルの全量を燃料用容器に入れ、容器をよく振って混ぜ合わせます。

注記：ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。

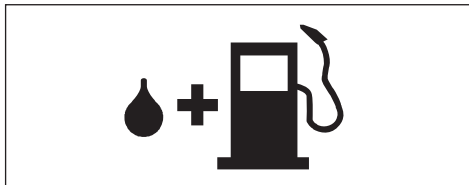
2. 残りのガソリンを加え、容器を振って混ぜ合わせます。



注意：1 ヶ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

給油

1. 給油する本機を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクキャップの周囲をきれいにしてください。
3. 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
4. 燃料容器をよく振って十分混ぜ合わせます。
5. 燃料タンクキャップを取り外し、8 分目を目安に少しずつ給油してください。



6. 給油が終わったら燃料タンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。
7. 給油場所から 3 m 以上離れた場所で始動してください。「本機の始動方法 12 ページ」を参照してください。

注記：燃料タンクの位置を確認するには、「製品の概要 3 ページ」を参照してください。

本機を操作する前に



警告：本機を操作する前に、安全注意事項をお読みください。

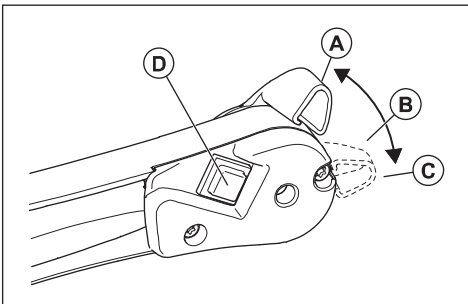
注記：この項は、ブロウ使用時の基本的な安全規則について記載します。どうしても分からない状況になった場合は、専門家に問い合わせるか販売店に連絡してください。また、技能的に難しいと思える操作は行わないでください。

- このブロウはバックバックタイプで、運転中は本機を背負い、右手でグリップを持って操作および制御します。
- ブロウはできるだけ低速のスロットルで使用してください。フルスロットルが必要になることはめったにありません。ほとんどの作業は半分のスロットルで処理できます。低スロットルの場合、騒音と粉塵も少なく、また集めたゴミの扱いが簡単になります。
- 熊手かほうきを使って、集めたゴミを片付けてください。
- パイプエンドの開口部を地面にできるだけ近づけず、パイプの長さを活かして空気流が地面に近くなるようにしてください。

- 本機は通常の労働時間帯に使用して、不必要な騒音を出さないようにします。朝早くまたは夜遅くの作業は避けてください。
- 風速はスロットルで調節されます。作業に適した処理速度を選択してください。
- 空気取り入れ口が葉やゴミなどで塞がっていないか確認します。空気取り入れ口が詰まっていると、ブロウの送風性能が下がり、エンジンの作動温度が上がります。これによりエンジン不良の原因となる場合があります。エンジンを停止して、異物を除去してください。
- 風の方向に気をつけてください。作業が楽になるように、風を利用してください。
- 他人の敷地内にゴミなどが吹き飛ばされていないか常に確認します。
- パイプを火気に向けないようにしてください。本機に火が付き、作業者が負傷したり周囲に損害を与えたりする可能性があります。
- ブロウを使用し、たくさん集めたものを移動させると、時間がかかり、不必要な騒音を発生させることになります。
- エンジンの稼働中は、スパークプラグやイグニッションケーブルに触れないでください。スパークプラグやプラグに触れると、感電する場合があります。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 作業終了後、よその庭にゴミを吹き入れなかったか確認してください。
- 作業が終了したら、ブロウは縦置きにし、保管してください。

スロットルスイッチの操作方法

- フルスロットル位置：(A)
- 始動位置（1/3 の速度）：(B)
- アイドリング位置：(C)
- エンジンスイッチ：(D)
スイッチを押すとエンジンが停止します。



本機の始動方法



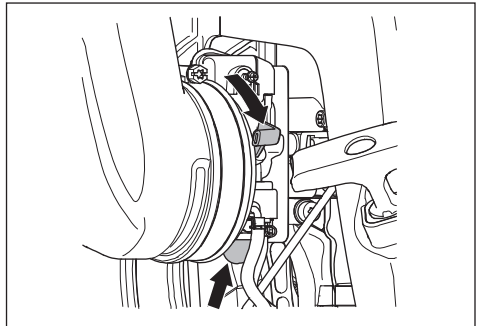
警告： 本機を始動する際は、必ず給油場所から 3m 以上移動してください。



警告： 作業エリアに許可なく人が立ち入らないようにしてください。重傷事故の恐れがあります。安全距離は 15m です。

1. チョークレバーを「閉」位置にします。

注記： エンジン停止直後に再始動する場合は、チョーク「開」位置のままかまいません。

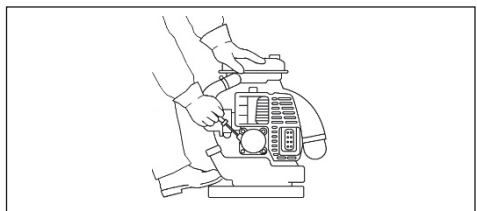


2. 燃料が透明パイプを通してタンクに戻り始めるまで、プライマポンプを指で押して離す操作を繰り返します。

注記： タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

3. スロットルレバーを始動位置 (B) にセットします。
4. 本機を地面の平らな場所に置きます。
5. 左手で本機を押さえて右足をフレームの上に置き、右手でスタータノブを引きます。スタータノブを始めは軽く引き出し、重くなった力をこめて素早く引いてください。

注記： スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に全部引き出したり、ノブから急に手を離して戻したりしないでください。



6. エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に「開」位置にして 2 ～ 3 分低速で暖機運転してください。

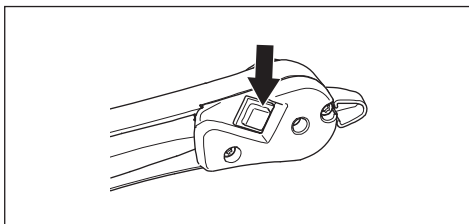
注記： チョークレバーを「閉」位置にしたままロープを引き続けるとスパークプラグが濡れてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークレバーを「開」位置にしてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグをいったん取り外して電極を乾かしてから操作をやり直してください。

本機の停止方法



注意： スロットルレバーをフルスロットル位置にしたまま停止しないでください。

1. スロットルレバーをアイドリング位置にして 1 ～ 2 分間冷却運転します。
2. エンジンスイッチを押します。



メンテナンス

はじめに



警告： 本機のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

メンテナンススケジュール

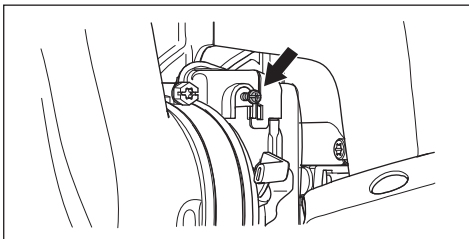
本機で実施すべきメンテナンス手順のリストは以下の通りです。ほとんどの項目は、メンテナンスのセクションで説明されています。使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くの販売店に依頼してください。

メンテナンス	毎日行う メンテナンス	毎週行う メンテナンス	毎月行う メンテナンス
本機の外側を清掃します。	●		
安全の観点から、スロットルレバーが正しく機能することを確認します。	●		
エンジンスイッチが正常に機能することを確認します。 (エンジンスイッチ 7 ページを参照)	●		
エンジン、燃料タンク、燃料系から漏れがないか確認します。	●		
ナット、スクリュおよびボルトが確実に締められているかどうかを確認します。	●		
燃料フィルタに汚れないか、燃料ホースに亀裂などの異常がないかを点検します。必要に応じて交換します。	●		
吸気網を点検して、詰まりがないことを確認します。	●		
スタータとスタータローブに損傷がないか点検します。		●	
エアフィルタを清掃します。必要に応じて交換します。		●	
防振装置に損傷やひびがないか点検します。		●	
スパークプラグの外側を清掃します。スパークプラグを取り外し、電極ギャップを確認します。ギャップを適切に調整するか、スパークプラグを交換します。 (スパークプラグの点検方法 15 ページを参照)		●	
本機の冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンを清掃します。		●	
キャブレタの外側と周辺を清掃します。		●	
燃料タンクを清掃します。			●
シリンダ取付ボルトの増締め			●
エンジン各部の増締め			●
マフラのカーボンを落とし、スパークアレスタの点検と清掃をします。 (マフラのメンテナンス方法 15 ページを参照)			●
すべてのコードと接続部を点検します。			●

アイドリング速度の調整方法

エンジンは工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化（エンジンのなじみ、高地使用など）により再調整が必要と思われる場合は、以下の手順で調整してください。調整しても改善しない場合は他の原因が考えられますのでお近くの販売店にご相談ください。

- 運転中スロットルレバーをアイドリング位置にしたとき、エンジンが止まってしまったり、逆にエンジン回転が高過ぎるような場合は、アイドル調整スクリュを再調整してください。エンジンをかけ、2～3分中速で暖機運転した後、スロットルレバーをアイドリング位置にしてからアイドル調整スクリュをドライブで回してください。スクリュを右に回すとエンジン回転が上がり、左に回すとエンジン回転が下がります。



スパークプラグの点検方法

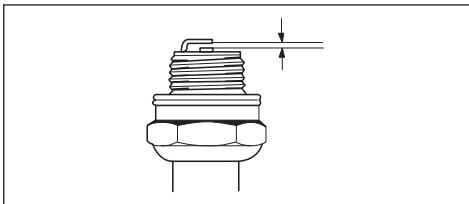


注意：スパークプラグは必ず、指定品を使用してください（「主要諸元 19 ページ」を参照）。指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

スパークプラグの状態は次の原因によって悪化します。

- 不適切なキャブレタの設定
- 誤った燃料調合
（オイル過多または不適切な種類のオイルの使用）
- エアフィルタの汚れ

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、アイドリングが安定しないなどの場合は、スパークプラグを点検してください。スパークプラグの電極部が汚れていたら清掃し、電極ギャップが 0.6 ～ 0.7 mm であることを確認します。スパークプラグは使用時間が延べ 1 カ月に達したら、また必要に応じて交換してください。



エンジン冷却用部品の清掃方法



注意：冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンに汚れや詰まりがあると、本機が高温になり損傷するおそれがあります。

- 運転時の温度をできるだけ低く保てるよう、本機には冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンが装備されています。
- 冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンに汚れや詰まりがないことを確認してください。
- 冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンをブラシで週に一度、過酷な使用環境ではより頻繁に清掃してください。冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンが汚れたり詰まったりしていると本機がオーバーヒートを起こし、ピストンやシリンダの損傷の原因となります。

マフラのメンテナンス方法



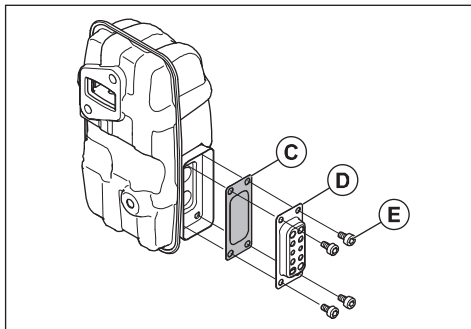
警告：不具合のあるマフラは使用しないでください。



警告：マフラは、作業時およびアイドリング時に非常に高温になります。火傷を防ぐために保護手袋を着用してください。

定期的なマフラを点検し、ボルトのゆるみ、損傷、錆の有無を確認してください。排出ガス漏れが見つかったときは、本機の使用をやめ、直ちに修理の依頼をしてください。

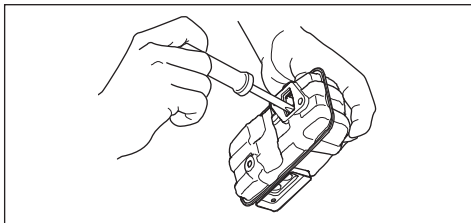
1. エンジンを停止し、マフラを冷やします。
2. ボルト (E) を取り外し、ディフューザ (D) とスパークアレスタ (C) を取り外します。



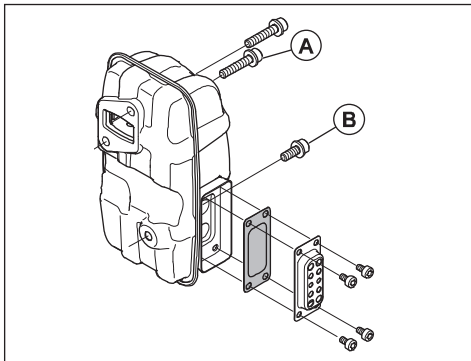
注記：マフラ内部の化学物質には発ガン性のものがあります。万が一、マフラが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

3. 焼けたカーボンがマフラテールから排出されるのを防ぐためにスパークアレスタが装着されています。ワイヤブラシで清掃し、カーボンを取り除いてください。

- マフラの排気口からドライバを差し込み、マフラ内部のカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。



- 清掃後、スパークアレスタ (C) とディフューザ (D) を取り付けます。ボルト (E) を締め付けてください。締付トルク：2 ~ 3 N・m (20 ~ 30 kg・cm)
- シリンダの排気ポートからワイヤブラシでシリンダ内の汚れを取り除きます。
- マフラを取り付けます。ボルト (A) と (B) を締め付けてください。締付トルク：8 ~ 12 N・m (80 ~ 120 kg・cm)



- 吸気網から汚れ、葉、異物を取り除きます。

注記： 吸気網に付着した異物をそのままにしておくと、エンジンの出力が低下し、エンジン温度が上昇し、エンジンが故障するおそれがあります。

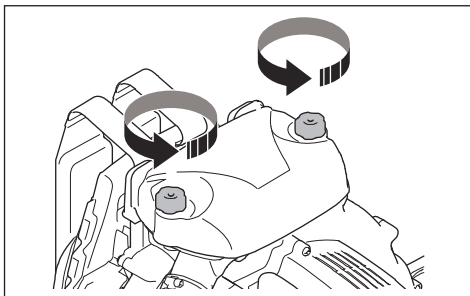
エアフィルタの清掃方法

エアフィルタを定期的に清掃して、汚れやほこりを取り除いてください。これにより、キャブレタの故障、始動不良、エンジン出力の低下、エンジン部品の摩耗を防止でき、適正燃費での運転ができます。エアフィルタは、運転時間 40 時間以下の間隔で清掃してください。また、過酷な運転条件で使用した際は清掃してください。

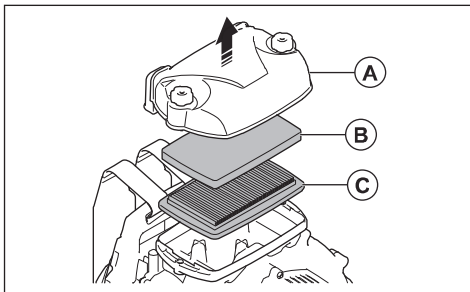


注意： プレフィルタおよびペーパーフィルタが詰まるとエンジン性能が低下します。また、プレフィルタおよびペーパーフィルタを外して運転したり、変形・破損したプレフィルタまたはペーパーフィルタを付けて運転し続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

- エアクリーナカバーを固定しているノブボルトを緩めます。



- エアクリーナカバー (A) を取り外します。



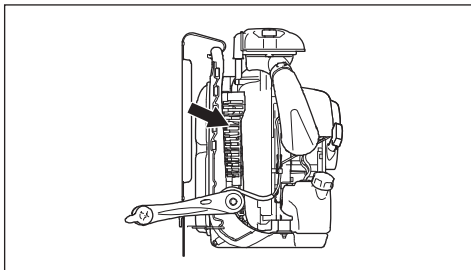
- エアクリーナボディからプレフィルタ (B) とペーパーフィルタ (C) を取り外します。

注記： 長期間使用したエアフィルタの汚れを完全に除去することはできません。エアフィルタを定期的に交換してください。また、エアフィルタが変形・破損している場合は新品と交換してください。

吸気網の点検方法

送風用の空気は吸気網を通じて取り入れられます。作業中に送風量が減ったときは、エンジンを止め、吸気網がゴミなどで目詰まりしていないか点検してください。

- エンジンを止めます。
- 吸気網に損傷がないか点検し、正しく取り付けられていることを確認します。



4. ペーパーフィルタを点検し、汚れやほこりを取り除きます。

注記： ペーパーフィルタを叩いて清掃しないでください。破損の原因となります。また、ペーパーフィルタの汚れがひどい場合は交換してください。

5. プレフィルタ (B) を中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させてください。

注記： プレフィルタは、ドライタイプです。オイルを塗布したり、油性洗剤で洗わないでください。また、プレフィルタを濡れたまま組み付けしないでください。

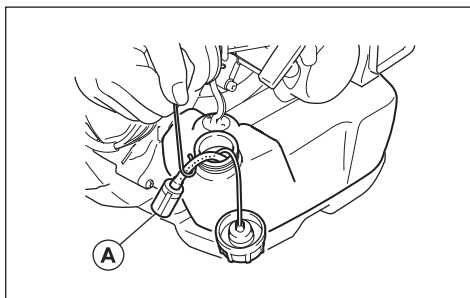
6. エアクリーナカバーの内側をブラシで掃除してください。

7. プレフィルタ (B) とペーパーフィルタ (C) を元通り組み付け、エアクリーナカバー (A) をノブボルトで締め付けます。

注記： エアクリーナカバーをノブボルトで確実に締め付けて固定し、手で軽く動かして外れないことを確かめてください。取り付けが不完全だと運転中にカバーが外れてプレフィルタおよびペーパーフィルタが脱落、紛失することがあります。

燃料フィルタの点検方法

- 20 時間使用するごとに燃料タンクから燃料フィルタ (A) を取り出し、ゴミを取り除いてください。詰まりがひどい場合は新品と交換してください。
- 燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかつたり回転変動を起こしたりします。

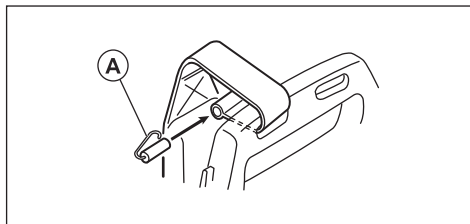


ハーネスの交換方法



注意： ハーネスが損傷していると、製品が落下して負傷するおそれがあります。

- エンジンを止めます。
- クリップ (A) をハーネスから取り外します。
- ハーネスの端部をフレーム上部開口部から引き抜き、損傷したハーネスを取り外します。
- 新しいハーネス端部をフレーム上部開口部に組み付けます。



- クリップをハーネスに取り付けます。

搬送・保管・廃棄

- 本機と燃料は、電気機器、電気モータ、リレー／スイッチ、ボイラなど、火花や裸火を発生するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や搬送を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。
- 本機を長期間保管する際は、必ず燃料タンクを空にしてください。残った燃料の廃棄は、お近くの販売店またはガソリンスタンドに相談して適切な廃棄処分を行ってください。
- プライマポンプを繰り返し押し押してキャブレタ内に残った燃料を抜き、燃料タンクを完全に空にしてください。スパークプラグを取り外し、2 サイクルエンジンオイルを 1 ～ 2 mL エンジン内に入れてください。スタータロープを 2 ～ 3 回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
- エンジンが誤って始動しないようにするために、本機を保管する前にプラグキャップを外してください。
- 長期間保管する際は、本機を清掃してください。
- 搬送の間、機器をしっかりと固定してください。
- 危険ですので自転車やバイクでの搬送はしないでください。
- 本機は塵や埃、湿気がなく、涼しくて換気の良い場所に保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 本機を廃棄処分にする場合は、お近くの販売店にご相談ください。

主要諸元

主要諸元

名 称	型 式	ゼノアエンジンプロワ EBZ8550	
本 体 乾 燥 質 量 ※ ¹	kg	11.4 (10.2)	
本体外形寸法※ ¹ (全長×全幅×全高)	mm	357 × 514 × 540	
燃 料 タ ン ク 容 量	L	2.3	
送 風 機	使 用 回 転 数	rpm	2000 ~ 7250
	平 均 風 量 ※ ²	m ³ / 分	27
	最 大 風 速 ※ ²	m / 秒	92
エ ン ジ ン	形 式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン	
	排 気 量	cm ³	75.6
	使 用 燃 料	潤滑油混合ガソリン	
	使 用 潤 滑 油	2 サイクルエンジン専用オイル	
	混 合 比	ゼノア純正オイル (FD級) 使用時 50 : 1	
	キ ャ プ レ タ	ダイヤフラム、ロータリーバルブ式	
	点 火 方 式	電子制御フライホイールマグネット (CDI 方式)	
	電 極 ギ ャ ッ プ	mm	0.6 ~ 0.7
	ス パ ー ク プ ラ グ	NGK CMR7H (電波障害防止型)	
	始 動 方 式	リコイルスタータ式	
停 止 方 式	点火回路一次側短絡式 (押しボタン)		

(※1) 燃料を除く。()内は、フレキシブルホース、風管類を外した重量

(※2) 風管出口部

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。予めご了承ください。



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社



0570-084987

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

取扱説明書原本

1141347-79



2020-01-01